

クラブ活動報告大会成績

ゴルフ部

【第53回 TEAMさずな杯】

■日時／2024年7月27日(土)
■場所／Kochi黒潮カントリークラブ
(太平洋・暖流コース)

優勝 濱岡 嘉一(ゲスト)

準優勝 沼田 明(名誉院長)

3位 湯浅 仁(ゲスト)

4位 十河 清(ゲスト)

5位 和田 建夫(ゲスト)



野球部

夜さこい野球大会 壮年の部 1回戦

■日時／2024年6月14日(金)

竹村会ベースボールクラブ vs 高須病院ダイアラライザー

	1	2	3	4	5	6	計
竹村会ベースボールクラブ	0	1	0	1	3	3	8
高須病院DLZ	0	2	0	0	0	0	2

病院対抗野球リーグ 1回戦

■日時／2024年6月16日(日)

高須病院ダイアラライザー vs いずみの病院

	1	2	3	4	5	6	計
高須病院DLZ	0	1	0	1	0	1	3
いずみの病院	2	0	0	0	0	0	2

夜さこい野球大会 1部 1回戦

■日時／2024年7月16日(火)

高須病院ダイアラライザー vs 西川呉服店

	1	2	3	4	5	6	計
高須病院DLZ	1	0	0	0	0	0	1
西川呉服店	4	1	0	2	×	×	7

病院対抗野球リーグ 2回戦

■日時／2024年7月21日(日)

検診クリニック vs 高須病院ダイアラライザー

	1	2	3	4	5	6	計
検診クリニック	1	0	0	1	0	0	2
高須病院DLZ	0	1	1	2	0	×	4

ご結婚おめでとう

医事課

有光 麻友(ありみつ まゆ)さん

旧姓／楠瀬(くすのせ)

2024年8月8日入籍



ご出産おめでとう

検査部

田村 瑠(たむら るい)

2024年4月29日生まれ

紬(つむぎ)ちゃん

ニューフェイス紹介

2024年5月1日～2024年8月16日

①趣味 ②病院の印象 ③自己PR ※部署別に掲載



透析室 看護師
松本 加奈(まつもと かな)

①犬とまったり過ごす
②地域に密着し、透析患者数が非常に多く、県内で重要な役割のある病院。
③透析室での看護は初めてですが日々学習と経験を積み職場に貢献できるよう頑張ります。



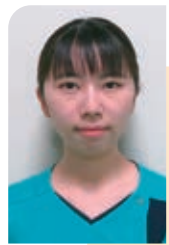
本院看護部 透析室
松崎 安希子(まつざき あきこ)

①映画鑑賞
②病院は明るく広々としていて働きやすい印象を受けました。
③ふくろうの小物を集めたりしています。いろいろ教えて頂き頑張りたいと思います。



病棟 看護師
田中 理子(たなか りこ)

①スケボー、サーフィン、釣り、カメラ
②きれいな病院で、院内の雰囲気がとてもよく感じました。
③私はアウトドア派なので外で遊ぶことが好きです。看護師経験は少ないですが頑張ります。



検査部 臨床検査技師
福本 明海(ふくもと はるみ)

①料理
②院内も広く明るくて、落ち着いた雰囲気の病院だと感じました。
③少しでも早く、力になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。



栄養部 管理栄養士
山本 奈緒(やまもと なお)

①読書
②どの職員さんも人当たりが良く、活気にあふれる印象を持ちました。
③積極的に仕事に挑み、病院患者さんに貢献していきたいと思っています。



保育 保育士
大野 安伊子(おおの あいこ)

①犬の世話、映画鑑賞
②話しかけると皆さんとても丁寧で好印象が持てました。どうぞよろしくお願いいたします。
③癒しの子供達、そして大好きな柴犬の為に日々頑張っています。



車輦 運転手
楠瀬 裕之(くすのせ ひろゆき)

①旅行、ペット(ボーダーコリー)
②最新の機器を備え揃える医療技術がありさらに色んな科に充実した総合的な病院。
③前職は血液製剤の配達。今後は患者さんの送迎業務であるため一層の安全運転に努めます。



車輦 運転手
濱崎 博(はまさき ひろし)

①スポーツ観戦、釣り
②院内は、清掃が行き届いており、清潔感がありとても良いと思いました。
③患者さんとのコミュニケーションを大事にし安全運転を心掛けてまいります。



車輦 運転手
明神 一夫(みょうじん かずお)

①釣り
②病院に行った時皆様の対応がとてもすばらしいと思いました。
③すばらしい皆様と働くのが楽しみです。一生懸命頑張ります。



介護付有料老人ホームはるか ホームヘルパー
林 祐太(はやし ゆうた)

①釣り(アオリイカ)
②院内の雰囲気も明るく職員さんの対応も親切で丁寧な印象をもっています。
③これまでの経験を活かして利用者さんに安心・信頼される職員になります。

編集後記

地域の皆さん、患者さんに支えられ、開院50周年を迎えることが出来ました。院内広報誌「ふれあい」が地域の皆さん、患者さんと尚腎会をつなぐ力となるよう、これからより良い情報発信を続けていきたいと考えます。
(広報委員 本山)

理事長より50周年記念に、
ピンバッジ頂きました



ふれあい

高知高須病院 院内広報誌 10月号 2024 vol.113



医療法人尚腎会

50周年記念

Takasu Topics

- ◆50周年を迎えての挨拶
- ◆お祝いのメッセージ
- ◆50周年記念祝賀会
- ◆尚腎会の歩み

- 訪問看護リハビリ導入
- 日本透析医学会学術集会
- 学会・研究会等 発表実績
- 職場探訪
- 病院機能評価の認定を取得

- 管理栄養士のレシピ集
- 夏祭り
- ニューフェイス紹介
- クラブ活動報告
- ご結婚・ご出産おめでとう

目次

理念 患者さんの良き理解者、援助者となり、より良い医療を提供します

1. 患者さんの立場を理解し、暖かい心、豊かな心で、患者さんの立場に立った医療を実践します
2. たゆみない知識の習得と技術の向上に心がけ、患者さんに還元します
3. 清潔で快適な環境を提供します
4. 柔軟性を持って、互いの連携と協調に努めます
5. 情報の確保に努め、進取の精神を持って創造と実践を心がけます



■院内広報誌「ふれあい」 vol.113 ■発行日／2024年10月31日
■発行所／高知高須病院 高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377
■http://www.takasuhp.or.jp ■発行人／池辺弥夏 ■編集／広報委員会
■印刷所／(有)三宮印刷 高知市潮新町2-14-8

右記のQRコードより、
高知高須病院の携帯
サイトに簡単アクセス!



医療法人尚腎会

50周年記念



医療法人尚腎会 会長
寺尾 尚民 (てらお なおたみ)



医療法人尚腎会 理事長
池辺 弥夏 (いけべ みか)

尚腎会50周年を迎えてのご挨拶

尚腎会が発足致しましたのが1974年10月14日です。今日50年が経過したことになり、50周年と言う記念すべき日を迎えることが出来ました。

しかし乍ら、この間は山あり谷ありの誠に厳しい年月を経験して参りました。お蔭様で尚腎会も確立した体制を年々築きあげる事が出来ました事、何よりも嬉しくまた感謝の念で一杯でございます。

この間、後任の池辺理事長が立派に引き継い

でくれています、現在の尚腎会を運営してくれており大変嬉しく存じます。

また、この間長年に亙り私を支えてくれました職員の皆様方初め家内の副理事長に厚く御礼申し上げます。

今後、更なるご親交の絆、ご援助賜りますようお願い申し上げます。

50年を振り返って

開院以来、現在迄の50年を振り返ってみますと、以下のとおりになります。その根底にあります基本線は一貫して次の大項目です。

1 理念の実践について

“患者さんのために”という心構えが日常的に必携になります。

2 医療にける思いについて

理念には基本的な心構えが列記されており、これに添った診療を信条として、この50年間努力して参りました。具体的な診療科は以下のとおりですが、いずれに於いてもトップクラスの設備並びに研鑽された技術の提供を常に心掛けて参りました。

① 透析医療関連 ② 泌尿器科医療関連

感謝

おかげさまで10月に当院は開院50周年を迎えることができました。

半世紀という長い年月、寺尾会長にとっては「気づいたら50周年だった」感覚のようで、すべて順風満帆ではなかったはずですが自身の理念に沿って思い描く病院に発展させるべく突き進んできたのであつという間だったのかも知れません。

これまで共に進んできて下さった歴代の職員の皆さんを含め、お世話になってきた方々に感謝申し上げます。

私が理事長職を継いで5年足らず、コロナ禍とともに交代したこともあり本当に当初から大田院長は

じめ多くの人に助けられてばかりでここまで過ぎてきました。

50周年という大きな節目を迎えて改めて、これからの舵取り役の重責に身の引き締まる思いではあります。

とは言え私はあまり、先頭に立ってぐいぐい突き進んでいけるとも思えず、結局これまで通り周りの皆さんに助けられながら、になりそうですが。

「患者さんのよき理解者、援助者となりよりよい医療を提供」できる病院に、また「働き続けたい病院」でもあるように今後も進んで行きたいと思ひます。

今後ともよろしくお願いいたします。

尚腎会理念

患者さんの良き理解者、援助者となり、より良い医療を提供します。

- ① 患者さんの立場を理解し、暖かい心、豊かな心で、患者さんの立場に立った医療を実践します
- ② たゆみない知識の習得と技術の向上に心がけ、患者さんに還元します
- ③ 清潔で快適な環境を提供します
- ④ 柔軟性を持って、互いの連携と協調に努めます
- ⑤ 情報の確保に努め、進取の精神を持って創造と実践を心がけます

高知高須病院 開院50周年 おめでとうございます



医療法人尚腎会 名誉院長
沼田 明 (ぬまた あきら)

1977年1月、高知市民病院に赴任後、高須クリニック時代に、パート職員として、勤務させていただいたのが最初でした。

1981年7月から高知高須病院附属安芸診療所開院時再度お世話になることになりました。当時、徳島大学附属病院に勤務していた時、教授から寺尾先生（現会長）が安芸に病院を建てたからだれか行ってくれとのことで初代分院長として赴任しました。

当時は、安芸の職員、本院の職員、呉越同舟（敵味方ではありませんが）で運営されていました。その後、透析患者さんのことを考え、室戸クリニックを開設されたと聞いています。

初期の目的通り、腎疾患・腎代替療法を中心とする医療の提供で、半世紀に渡り、地域医療を担ってこられたことに、敬意を表します。また、その間、少しでも貢献(?)できたことに少し満足しています。私も年齢を重ね、回顧することが多くなってきました。

起業の創設時は、言葉で言い表せない苦難が多く存在します。それらを寺尾会長の信念で乗り越えてこられ、今日の病院の基礎を築き上げてこられました。出来上がった環境に乗って、何となくやっていくことは容易いですが、さらなる発展のために、職員一同、病院の理念にのっとり、自分の仕事場に誇りと愛着を持ち、切磋琢磨されることを強く希望します。

堅い話になりましたが、今後も尚腎会の理念である、「患者さんのよき理解者、援助者となり、より良い医療を提供します」を目指し、地域から信頼される尚腎会を維持していきましょう。

寺尾会長に感謝 高知高須病院 開院50周年を記念して



糖尿病内科 部長
近森 一正 (ちかもり かずまさ)

私が寺尾会長と初めて出会ったのは、1956年、徳島大学医学部に入学した時であった。高知県からは6人合格し、私はまだ大人に成りきっていなかったため、彼に成人としての知識や態度を教えて貰った記憶がある。医学部専門分野に入ってから、解剖実習や臨床教育、教授の口頭試問など、寺尾、近森、辻野ら6名と、卒業まで6年間同じグループで活動することが多かった。

寺尾会長は1974年、高知県では早期に透析施設を持つ診療所を高須新町に開設した。私などには思いつかない先見性と感銘を受けた。その後安芸、室戸に分院を開設した後、2002年に高知市大津に現在の高知高須病院を開設した。また、同年6月糖尿病内科外来を開始した。

当時私は高知赤十字病院に在籍しており、会長から当院に来るよう勧められていたが、2003年から糖尿病内科に就職した。

病院外では、高知糖尿病談話会、糖尿病チーム医療研修会などを開始し、院内では、糖尿病友の会に参加し、糖尿病教室の開始、らん便りの発行等を始めた。さらに、糖尿病学会への研究発表、糖尿病専門医・指導医の継続、糖尿病療養指導士の育成など、糖尿病に関しては県下でも有数の病院となった。

会長の「患者さんのために」という心構えと、「Ever Onward」の精神には感銘を受ける。これからも長期に渡りお元気で、病院および私ども職員のためにご指導いただくようお願いしている。

お祝いのメッセージ

半世紀という長い間 腎疾患患者のいのちを守る 尚腎会に感謝



NPO法人高知県腎臓病患者友の会
代表理事
品原 節男 (しなはら せつお)

この度、医療法人尚腎会が創立50周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。半世紀という長い間、より良い透析療法を目指して活動され、高知県の腎疾患患者のいのちを守る医療機関として取り組んで頂き心より感謝申し上げます。

高齢化社会の中、手厚い送迎、災害対策、コロナ禍にも安心して透析治療ができるのは理事長・院長をはじめとし、尚腎会の医療従事者・関係者の皆

様のお陰です。当会の交流活動、国会請願活動にも快く協力して頂き誠に有難く存じます。

これからも地域住民の命と健康を支える施設として地域医療の益々の拡大を進められますようお願い申し上げます。

最後に貴院の更なるご発展とご活躍を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。

50周年おめでとうございます

栗林 生香 (くりばやし せいか)

高知高須病院50周年おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。

私は室戸クリニックで透析を受けています。2000年11月高知新聞に室戸クリニック開院の記事が掲載されました。

その時はただ単に「新しい病院ができたんだなあ。安芸まで通っていた患者さんは近くになってよかったな」と思っただけでした。

まさかその6年後に自分がお世話になるとは微塵も思っていませんでした。これから先もお世話になりたいと思います。

最後になりましたが、いつも患者会の活動にご理解ご協力ありがとうございます。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

50周年記念 祝賀会

1974年10月14日開院から、今年で50年となることを記念し、2024年10月19日（土）に、ザ クラウンパレス新阪急高知で「医療法人尚腎会高知高須病院50周年記念祝賀会」を開催いたしました。

会場にはたくさんのお祝いの言葉やお花をいただき、華やかな祝賀会となりました。

参加者の方々の 思いあふれた祝賀会

管理部 副部長 北岡 啓介（きたおか けいすけ）

開院から50年という節目の年を迎えるにあたり、池辺理事長、寺尾会長よりこれまでの歩み、今後に向けての抱負についてご挨拶をいただきました。

祝賀会ではご来賓の方からのご丁寧な祝辞を賜り、さらに多くのご祝電も披露させていただきました。またこれまでの50年を振り返る記念動画も上映され、懐かしい気持ちとともに次に向けての新たな気持ちを改めて感じました。会場ではサプライズケーキも登場し、終始和やかな雰囲気で進んでいきました。

コロナ禍の影響もありこのような会は久しぶりの開催でしたが、当日は数多くの関係者の方々にご臨席いただき、盛会のうちに終了いたしました。



写真左から／池辺理事長・寺尾会長・寺尾副理事長・沼田名誉院長・大田院長・戦院長・清藤院長



1974

50年の歩み

1974年（昭和49年）

10月/高知市高須新町2丁目に、高須クリニック（病床数19床）として開院

1980年（昭和55年）

7月/医療法人となり診療所から病院へ（病床数52床）

1981年（昭和56年）

7月/63床に増床・院内託児所を開設
8月/安芸市港町に、附属安芸診療所を開設

1982年（昭和57年）

9月/附属安芸診療所にて患者送迎バス運行開始

1987年（昭和62年）

4月/高須クリニックから高知高須病院へ名称変更

1989年（平成元年）

1月/県内初、体外衝撃波尿路結石破碎装置（ESWL）導入
12月/高知市高須新町3丁目に、附属南診療所を開設

1991年（平成3年）

10月/県内民間病院初の生体腎移植実施

1998年（平成10年）

6月/本院透析患者送迎バス運行開始
9月/本院集中豪雨による大水害発生

2000年（平成12年）

11月/室戸市室津に「室戸クリニック」を開設

2002年（平成14年）

3月/電子カルテ導入（外来）
6月/高知市大津乙に「附属南診療所」を統合して「高知高須病院」を新築移転

2003年（平成15年）

1月/地域の方へ腎臓の勉強会として第1回そらまめ教室を開催

2004年（平成16年）

3月/日本医療機能評価機構による病院機能評価Ver.4.0認定

2006年（平成18年）

12月/ホルミウムレーザー前立腺核出術（HoLep）導入

2007年（平成19年）

7月/マルチスライスCT導入

2009年（平成21年）

3月/日本医療機能評価機構による病院機能評価Ver.5.0認定
9月/本院2階改装増築工事着工
電子カルテ本院全体で導入（外来・透析・入院）

2010年（平成22年）

10月/附属安芸診療所透析支援システム導入
11月/5階透析室（透析室3）稼働開始



◎高須クリニック開院（1974年）



◎附属安芸診療所開設（1981年）



◎初の腎臓移植（1991年）



◎室戸クリニック開設（2000年）

2011年（平成23年）

4月/「高知高須病院」に「介護付有料老人ホームはるか」を開設

2012年（平成24年）

5月/室戸クリニック透析支援システム導入
附属安芸診療所耐震工事並びに増築工事竣工

2014年（平成26年）

3月/日本医療機能評価機構による病院機能評価3rdG: Ver.1.0認定
3・4月/生体腎移植施行
10月/「訪問看護ステーションたかす」を開設
「居宅介護支援事業所ケアサポートたかす」を開設
12月/「居宅介護支援事業所ケアサポートあき」を開設

2015年（平成27年）

2月/「訪問看護ステーションあき」を開設
8月/「訪問リハビリテーションたかす」を開設
9月/内視鏡下手術支援ロボット・ダビンチSi導入

2016年（平成28年）

4月/透析支援システム導入

2018年（平成30年）

11月/附属安芸診療所電子カルテ稼働
12月/内視鏡下手術支援ロボット・ダビンチXi更新

2019年（平成31年）

2月/前立腺癌超音波画像診断装置導入
6月/日本医療機能評価機構による病院機能評価3rdG: Ver.2.0認定
10月/遠隔読影システム導入

2020年（令和2年）

4月/寺尾尚民理事長退任し会長就任、池辺弥夏理事長就任
12月/室戸クリニック電子カルテ稼働

2024年（令和6年）

9月/日本医療機能評価機構による病院機能評価3rdG: Ver.3.0認定

◎寺尾会長就任
池辺理事長就任（2020年）



◎「はるか」開設（2011年）



◎ダビンチSi導入（2015年）



2024



2024年9月 訪問看護 リハビリ導入

訪問看護ステーションたかす 副主任
桑原 弘子(くわばら ひろこ)

日常生活に寄り添ったリハビリを始めませんか

訪問看護ステーションたかすは、2014年10月に設立されました。

高齢化社会の加速化に伴い院内のみならず外部からの依頼も増え、東部地区を主に高知市、南国市、香南市、香美市と、エリア拡大して対応しています。

また24時間365日安心して生活を送れるように支援しています。

2024年9月には訪問看護ステーションに理学療法士が配置されることになり、リハビリ専門職がご家庭を訪問し、実際に生活している場面でリハビリを行うことが可能になりました。

訪問リハビリの利点は、病院や施設での訓練と違って、実際の生活場面で訓練を行うことで日常生活における危険を防止し、福祉用具の導入や住環境改善のアドバイスを行い、実際に困難な行為を改善できる点です。

また、直接ご家族様へのアドバイスが可能であり、介護状況や介護にかかる負担を確認しながら、生活介助指導なども行う事ができます。

通院が大変な方や病状に不安がある方など些細な事でもかまいません。お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】

〒781-5103
高知市大津乙2705-1 高知高須病院内・5階
TEL088-878-3021
営業日／月曜～金曜
営業時間／午前8時30分～午後5時30分
休日／土曜・日曜・祝日・年末年始

【訪問看護ステーション 訪問リハビリ料金表】

時間	要介護	要支援
20分	294円	284円
40分	588円	568円
60分	795円	

※基本的に40分サービスが多くなっています。
※利用者様が1割負担の場合の金額となります。



緊張からの～達成感！



多くの学びを得ることができ、とても充実した2日間でした。

他の病院の発表も興味深いものが多く、スキンテアや透析中運動療法など他院での取り組みについて多くの学びを得ることができ、とても充実した2日間でした。

透析室 看護師
中内 清理亜(なかうち せりあ)

今回、第69回日本透析医学会学術集会・総会に看護研究発表者として参加させていただきました。場所は神奈川県横浜市のパシフィコ横浜。

山の人で、熱心に発表者の声に耳を傾ける静かな雰囲気だったのにさらに緊張しましたが、何とか発表することができました。

初めての発表なのに、とても大きな会場に少し圧倒されました。最終日の午前中という時間枠だったためか、会場内は立って聴講するなど沢

発表後質問をしてくださったり会場外で声をかけてくださった方もおり、私たちの発表に興味を持っていただき、他者の気づきとなったことは本当にうれしく思いました。

第69回

日本透析医学会学術集会・総会に参加して

学会・研究会等 発表実績 2024年4月～6月	学会・掲載雑誌名等	発表日	開催地	演 題 名	部署／発表者名
	第50回 日本血液浄化技術学会	4月13日	埼玉県	南海トラフ地震に備えて	臨床工学部／小川 晋平
	糖尿病教室	5月11日	高知県	糖尿病から腎臓を守るには	医 局／吉本 幸生
	第34回 日本臨床工学会	5月18日	福井県	PD遠隔モニタリングの現在とこれから	臨床工学部／濱田 あすか
				医師のタスクシフトに伴うMRI・超音波融合画像ガイド下前立腺生検	臨床工学部／森川 智輝
	第14回 高知県臨床工学会	6月2日	高知県	PD患者における遠隔通信医療の有用性	臨床工学部／山本 加奈
				ニプロ社製透析モニターHD03流量精度確認用溶液の検討	臨床工学部／北村 美咲
	第69回 日本透析医学会学術集会・総会	6月8日	神奈川県	日機装社製透析量モニタ(DDM)におけるアルブミン漏出量の影響	臨床工学部／細川 和宣
				低分子蛋白領域の除去効率を目的としたI-HDF用ヘモダイアルフィルターの選定	臨床工学部／公文 歩樹
				大規模災害を想定した災害時透析訓練を実施して	臨床工学部／仙頭 正人
		6月9日	神奈川県	下肢切断予防に向けた透析室看護師の取り組み	HD3／中内 清理亜
				腎代替療法選択期において拒否を示した患者への共同意思決定支援	病 棟／高橋 桂未
				医療従事者からみた透析低血圧	臨床工学部／濱田 あすか
	そらまめ教室	6月15日	高知県	慢性腎臓病(CKD)と糖尿病について	医 局／吉本 幸生



チーム医療のコーディネーターとなり 臨床支援のエキスパートを目指す

臨床支援課 臨床支援士 主任 梶原 りか(かじはら りか)

患者さんの最善の利益のために、チーム医療の架け橋へ

医師事務作業補助者とは、医師が行う業務のうち事務的な業務をサポートする職種です。

当院では2015年4月より業務を開始し、2020年4月に医師事務作業補助室として独立、外来部門の連携をより深めるために、2023年1月から看護師、クラーク、医師事務作業補助者からなる外来診療部を発足しました。医師の事務的作業補助に留まらず、他職種との連携強化を目的に部署名も臨床支援課と改め、呼称はMA (Medical Assistant)としました。

現在、主任1名、副主任1名を含む10名で構成しています。

外来診察補助、透析回診・透析処方箋準備、退院サマリー作成補助、診断書等の書類作成補助、搬送情報入力、NCD登録等の業務があります。

2024年4月から前立腺癌手術(RARP)、膀胱癌(TUR-BT)、腎癌等(摘出術)を実施した方の外来サマリー作成を開始しました。また、外来診察補助の業務拡大として「説明と同意」の内容をカルテに代行入力しています。

今後も、チーム活動を通じて他職種と連携を強化し、患者さんの最善の利益のために、チーム医療の架

け橋となります。日々研鑽と経験を重ね、各種学会に発表・参加し、医師等の負担軽減に貢献していきたいと思っています。

【部署理念】

「チーム医療のコーディネーターとなり
臨床支援のエキスパートを目指す」

- ①他職種と協力し、患者さんの最善の利益のために、チーム医療の架け橋となります。
- ②自己研鑽と経験を重ね、医師の負担軽減に貢献します。



文書作成風景

診察補助風景

病院機能評価(機能種別版評価項目3rdG:Ver.3.0)の認定を取得しました

高知高須病院 院長 大田 和道(おおかずみち)

2024年9月6日付けで、公益財団法人日本医療機能評価機構の定める「機能種別版評価項目3rdG:Ver.3.0」の認定を受けました。

今回が5回目ということで経験豊富な職員も多く、万全の準備で臨めたのではないかと思います。また、職員一人ひとりが各評価項目に真剣に向き合い準備を進めるだけでなく、各部署でさまざまな改善を加え、しっかりと対応ができたことが良い結果につながったと考えています。

これからも、良質な医療サービスを継続的に提供し、地域から信頼される病院であるために、職員一丸となって更なる業務改善に取り組んでまいります。



管理栄養士さんのレシピ集 ④



管理栄養士 副主任
利岡 理奈
(としおか りな)

魚のもみじ焼き



名前のとおり人参の鮮やかなオレンジ色が秋の紅葉をイメージさせる一品です。

人参に豊富に含まれる脂溶性のビタミンAは、油と一緒に摂ることで吸収率がアップします!

材 料(1人分)

サワラ……………1切れ(80g)	玉ねぎ……………5g
塩……………0.3g	生姜……………1g
酒……………1g	サラダ油……………5g
人参……………15g	濃口醤油……………2.5g

作 り 方

- ①サワラに塩、酒をまぶしておく
- ②人参・玉ねぎ・生姜をすりおろし、サラダ油と醤油で和えておく
- ③サワラの上に②のをせ、220℃に温めておいたオーブンで10～12分焼く

栄養成分

◎エネルギー……………218kcal ◎たんぱく質……………17g
◎塩 分……………1g

親子で楽しんだ夏祭り

管理部 総務課 保育 主任 細木 純子(ほそぎ すみこ)

8月25日(日)に初めて親子参加の夏祭りを保育室で開催いたしました。
高知の夏といえば「よさこい」・子ども達のヒーローといえは「アンパンマン」この2つの踊りを8月の初めから保育活動の中で練習しました。
2才児さんはよさこいの音楽を聴くと保育士の後に続き鳴子を鳴らしながら上手に踊り、0才・1才児さんは、アンパンマンの曲にノリノリで手を振り身体を揺らせて笑顔で踊っていました。当日は、親も踊りに参加しました。

ヨーヨーすくいや輪投げ・おめん屋さんにお菓子の詰め放題などのお店が並び、普段の保育室が大変身!
子ども達は、それぞれのお店屋さんでどれにしようか悩んだり、ゲームを楽しんだり、お菓子の詰め放題では、お母さんの方が一生懸命だったとか…(笑)
また、普段顔を合わすことがない保護者の方々との交流の場となり、短い時間ではありましたが、楽しい親子行事となりました。



夏祭り

